

2018年(平成30年)2月21日(水)



清流に育つ水草バイカモを通じ環境保全や観光振興を考える「日韓バイカモ保全国際交流サミット」が24日、三島市本町のVilla 01で開かれる。2007年に始まり5回目。韓国・江華島のバイカモ生息地を保全している「韓国ナショナルトラスト」関係者が来訪。三島でバイカモ保全を続けるNPO団体「グラウンドワーク三島」(GW三島)と意見交換し、交流を深める。

両団体は03年から交流を始め、10年にはそろって「日韓国際環境賞」(毎日新聞社・朝鮮日報社主催)を受賞している。

24日は、午前10時からGW三島の案内により源兵衛川や三島梅花藻の里などの活動現場視察体験。午後1時半からGW三島の渡辺豊博専務理事の記念講演があり、同2時20分から「バイカモ保全活動の現状と課題、解決策への提案と日韓国際交

## 三島で日韓バイカモサミット

流の方向性」をテーマにパネルディスカッションがある。韓国からは、金舜来・江華島市民連帯生態保存委員長△林鎭秀・江華島チヨジ里長▽崔仲基・江華島バイカモ委員長――

らが参加予定。一般の参加も歓迎しており、午前の活動現場視察は参加費200円。午後の記念講演や活動報告、パネルディスカッションは無料。午後6時からは交流会(参加費3000円)もある。問い合わせはGW三島(0555・983・0136)。

【石川宏】

韓国・江華島にある韓国ナショナルトラストが保全するバイカモ生息地の  
水田=韓国・江華島で